



動物用医薬品

犬に寄生する線虫類及び糸虫類の駆除剤

承認指令書番号	29動薬第3975号
販売開始	1998年11月
再審査結果	2005年10月

ドロンタールTMプラス錠

2021年9月改訂

貯法 室温保存

90204669

【成分及び分量】

品名	ドロンタールプラス錠
有効成分	ブラジクアンテル、ハモ酸ビランテル、フェバンテル
含量	本品1錠中(660mg)に、ブラジクアンテル50mg、ハモ酸ビランテル144mg、フェバンテル150mgを含有する。

【効能又は効果】

犬: 犬回虫、犬狗虫、犬鞭虫、瓜実糸虫の駆除

【用法及び用量】

通常1回、体重1kg当たりブラジクアンテル5mg、ハモ酸ビランテル14.4mg、フェバンテル15mg(体重10kg当たり1錠)を基準量として次の量を経口投与する。

体重 0.5kg以上 2.5kg未満	¼錠
体重 2.5kg以上 5kg未満	½錠
体重 5kg以上 10kg未満	1錠
体重 10kg以上 20kg未満	2錠
体重 20kg以上 30kg未満	3錠
体重 30kg以上 40kg未満	4錠

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
- ・本剤は犬以外の動物に使用しないこと。

(取扱い及び廃棄に関する注意)

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・本剤の有効成分ブラジクアンテルは、有機溶剤等に溶解した場合等、溶液の状態においては皮膚から吸収されることが知られているので、薬剤が投薬作業者の皮膚に触れることのないように注意すること。なお、誤って皮膚に付着した場合には、直ちに石けんで洗い流すこと。

(犬に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)**① 対象動物の使用制限等**

- ・本剤の有効成分であるフェバンテルは、ラットの高用量投与で催奇形性が認められているので、妊娠している犬には投与しないこと。
- ・本剤は2週齢未満の犬には投与しないこと。
- ・本剤は体重0.5kg未満の犬には使用しないこと。

② 重要な基本的注意

- ・本剤投与による瓜実糸虫駆除の確認の際、関節がバラバラになり半透明の状態で排出されるので注意深く観察するよう飼い主に指導すること。

③ 相互作用

- ・本剤の有効成分であるハモ酸ビランテルは、ピペラジンと互いに拮抗する可能性があるため、併用は避けることが望ましい。

【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂四丁目15番1号
お問い合わせ先: ☎0120-126-471

ドロンタール、Elanco 及び : エランコ又はその関連会社の商標です。

【製造販売元(輸入発売元)】

エランコジャパン株式会社

〒107-0052
東京都港区赤坂四丁目15番1号



獣医師、薬剤師等の医療関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に關する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。